

電 力 情 報

NO. 54

平成 22 年 9 月 28 日
東 北 電 力 (株)

8 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について (表 - 1 参照)

8 月分の販売電力量は、74 億 1,700 万 kWh、対前年比 112.9% の実績となり、8 月分の販売電力量としては過去最高となりました。用途別の実績は、以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、気温が高い日が続き記録的な暑さとなったことから、冷房需要の増加などにより、対前年比 110.7% と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 111.6% の実績となりました。

○ 特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、気温が高い日が続き記録的な暑さになったことから、冷房需要の増加などにより、対前年比 110.7% と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 113.6% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、生産回復の動きに加え、平成 21 年 8 月分が大きく前年実績を下回った反動などから、対前年比 115.5% の実績となり、9 カ月連続で前年実績を上回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

8月の発受電電力量の合計は83億2,900万kWh、対前年比116.0%の実績となり、8月の発受電電力量としては過去最高となりました。

（自社水力）

降水量が少なかったことから、出水率84.8%の渇水となりました。

発電量は、前年を6,800万kWh下回る5億9,800万kWhとなりました。

（自社火力）

需要の増加などにより、発電量は前年を1億7,900万kWh上回る40億9,600万kWhとなりました。

（自社原子力）

前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を2,500万kWh上回る18億3,600万kWhとなりました。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を2,700万kWh下回る7,500万kWhとなりました。

（他社受電）

火力の受電量が増加したことなどにより、他社受電合計では前年を1億1,200万kWh上回る20億2,400万kWhとなりました。

電気関係報告規則等の一部を改正する省令（平成22年3月31日 経済産業省令第20号）により、発電量等に関する国への報告様式が変更になり、新エネルギー等（風力、太陽光および地熱）の発電量は別掲することとなりました。これにあわせ、当社の報道発表資料につきましても、地熱発電の発電量を「自社新エネルギー等」として別記しております。

以 上